

2018年1月25日

在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報

黄熱病予防接種の勧奨（チジュッカ国立公園）

報道によると、チジュッカ国立公園周辺のウジナ（Usina）において、猿4匹の死亡が確認されたことに伴い、同国立公園側は、入園しようとする場合には黄熱病の予防接種を行うよう呼びかけているとのことです。

【発生状況】

リオ州保健局によれば、本年1月1日から1月24日までに23件の黄熱病感染が確認されており、8名が死亡しているとのことです。

バレンサ市（Valença）13件（死者4名）

テレゾポリス市（Teresópolis）4件（死者2名）

ミゲル・ペレイラ市（Miguel Pereira）1件（死者1名）

ノバ・フリブルゴ市（Nova Friburgo）1件（死者1名）

ペトロポリス市（Petrópolis）1件

ドウアス バッハス市（Duas Barras）1件

リオ・ダス・フロレス市（Rio das Flores）1件

バソーラス市（Vassouras）1件

【当館から】

現在、黄熱病の発症は、主に山間部で確認されており、リオ市内等の市街地において黄熱病を発症したとの報告はありませんが、黄熱病の予防接種が可能な方は、予防接種をご検討下さい。

また、チジュッカ国立公園以外にも、黄熱病の予防接種の勧奨を検討している施設があるとの報道もありますので、ご旅行等の際には、目的地の情報収集に努めて下さい。